

1
基本項目

事務事業名	市民スポーツ推進事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課
予算事業名	市民スポーツ推進事業					係名	スポーツ係
新規・継続区分	継続事業					電話番号	0765-23-1046
事務区分	自治事務				予算科目	会計	一般会計
事業期間	開始年度	不明	終了年度	当面継続		款	教育費
総合計画	目標名	目標2. 未来につなぐまち				項	保健体育費
	政策名	政策09. いつまでも健やかなまちづくり				目	保健体育総務費
	施策名	施策21. いきいきとしたライフスタイルの実現				総合計画主な事業	
	基本事業名	基本事業21-1. 生涯スポーツ・レクリエーションの推進				総合戦略との関連	
根拠法令				集中プランとの関連			
アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済（業務委託）			評価対象年度の重点事業			

2 事業概要	事業概要	市民の生涯スポーツの普及・推進を図るための取組みを行う。 ①スポーツ推進審議会の開催、②スポーツ推進委員の配置によるスポーツの実技指導や助言の実施（スポーツレクリエーション事業の実施）、③学校スポーツ施設の開放事業（施設管理を含む。）、④登山道の整備						
	対象	市民、施設等						
	手段（活動指標）	・学校スポーツ施設の開放施設数						
	意図（成果指標）	・学校スポーツ施設開放事業利用者数						

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			R7年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動①	学校スポーツ施設の開放施設数	施設	21	21	21	21	100.0%	21
	活動②								
	成果①	学校スポーツ施設開放事業利用者数	人	55,403	59,693	50,000	55,279	110.6%	50,000

4 コスト情報	区 分		単位	R4年度	R5年度	R6年度				R7年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	次年度への繰越額	決算増減率	当初予算額
	事業費	事業費合計（A）	円	9,342,146	9,510,047	10,765,940	9,589,116		0.8%	10,653,000
		①国庫支出金	円							282,000
		②県支出金	円	282,000	282,000	282,000	282,000		0.0%	
		③地方債	円							
		④その他（使用料、雑入等）	円	2,366,094	2,169,811	2,541,000	1,936,869		-10.7%	2,551,000
		⑤一般財源	円	6,694,052	7,058,236	7,942,940	7,370,247		4.4%	7,820,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	4	4	4	4	—	0.0%	4
		②年間所要時間	時間	1,900	1,500	1,500	1,500	—	0.0%	1,500
		③人件費（②×@ 4,104 円）（B）	円	7,797,600	6,156,000	6,156,000	6,156,000	—	0.0%	6,156,000
	総 費 用（A+B）		円	17,139,746	15,666,047	16,921,940	15,745,116		0.5%	16,809,000

5 取組内容	令和6年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等									
	・スポーツ推進委員協議会の運営補助 ・派遣スポーツ主事による、スポーツ指導、県内の派遣主事との連携、市内小中学校との連絡調整 ・体育施設夜間開放の実施 ・登山道の整備委託、片貝山荘の運営									

6 評 価	評価の視点	R5評価	R6評価	個別評価の項目		個別評価の判定	今後の方針	
	妥 当 性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である	➡	○現状を維持	事業の拡充
				② 目的の妥当性	1 妥当である		事業の縮小	統合等の検討
				③ 対象の妥当性	1 妥当である		事業の休止	終了又は廃止
	有 効 性	A	A	① 目標達成度	1 高い		方針の説明等	
				② 類似事業の有無	1 なし	生涯スポーツ振興に係る根幹事業であることから、継続して実施していくことが必要と思われる。また、派遣スポーツ主事によるスポーツ指導は、市が推進するユニバーサルスポーツ（ボッチャ、ユニホック、タグラグビー）の普及向上にも寄与し、また、スポレク祭を充実するなど、生涯スポーツ推進に大きく寄与していると思われる。		
				③ 上位施策への貢献度	1 高い			
	効 率 性	A	A	① コスト効率	1 高い			
				② 実施主体の適正化	1 適正である			
				③ 負担割合の適正化	1 適正である			
結果(総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当					

1
基本項目

事務事業名	室内温水プール建替推進事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
予算事業名	室内温水プール建替推進事業					係名	スポーツ係	
新規・継続区分	継続事業					電話番号	0765-23-1046	
事務区分	自治事務					会計	一般会計	
事業期間	開始年度	平成29年度	終了年度	当面継続		款	教育費	
総合計画	目標名	目標2. 未来につなぐまち				項	保健体育費	
	政策名	政策09. いつまでも健やかなまちづくり				目	体育施設費	
	施策名	施策21. いきいきとしたライフスタイルの実現				総合計画主な事業		
	基本事業名	基本事業21ー1. 生涯スポーツ・レクリエーションの推進			総合戦略との関連			
根拠法令					集中プランとの関連			
アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済（業務委託）				評価対象年度の重点事業			

2 事業概要	事業概要	魚津市の室内温水プールは、昭和54年3月の開設以来、約40年間気軽に親しめる施設として幅広く市民に利用されています。近年は、老朽化が進み、ボイラー等設備の故障や雨漏り等が相次いで発生し、快適に利用できる状態を保つのが困難な状況であり、その改修には多額の財政負担を伴います。平成26年7月に策定された「魚津市公共施設再編方針」では、温水プールは建替えることとしており、その設置場所と施設内容について検討を実施。令和元年度は内閣府の交付金を活用し、PFI導入可能性調査を実施し、令和2年度は整備手法等の検討、及び整備方針や整備スケジュールを決定する。	
	対象	市民、管理施設（総合体育館室内温水プール）	
	手段（活動指標）	たくさんの市民や事業者の意見を取り入れながら、費用的に効率的・効果的な新しい室内温水プールを造る。	
	意図（成果指標）	新しい室内温水プールが完成し、多くの市民が利用している。	

3 指 標	活動指標名・成果指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			R7年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動①	工事進捗割合（工事出来高）	%		5. 20	100. 00	77. 32	77. 3%	100. 00
	活動②								
	成果①	未完成	未完成						
	成果②								

4 コスト情報	区 分		単位	R4年度	R5年度	R6年度				R7年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	次年度への繰越額	決算増減率	当初予算額
	事業費	事業費合計（A）	円	2, 100, 555	315, 252, 890	1, 492, 415, 100	1, 099, 955, 284	392, 459, 816	248. 9%	392, 459, 816
		①国庫支出金	円		19, 657, 000	187, 560, 000	36, 292, 000	151, 268, 000	84. 6%	151, 268, 000
		②県支出金	円							
		③地方債	円		266, 015, 000	1, 181, 100, 000	969, 200, 000	211, 900, 000	264. 3%	211, 900, 000
		④その他（使用料、雑入等）	円			90, 000, 000	74, 000, 000	12, 600, 000		12, 600, 000
		⑤一般財源	円	2, 100, 555	29, 580, 890	33, 755, 100	20, 463, 284	16, 691, 816	-30. 8%	16, 691, 816
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	－	0. 0%	2
		②年間所要時間	時間	1, 400	1, 600	1, 600	1, 600	－	0. 0%	1, 600
		③人件費（②×@ 4, 104 円）（B）	円	5, 745, 600	6, 566, 400	6, 566, 400	6, 566, 400	－	0. 0%	6, 566, 400
	総 費 用（A＋B）		円	7, 846, 155	321, 819, 290	1, 498, 981, 500	1, 106, 521, 684	392, 459, 816	243. 8%	399, 026, 216

5 取組内容	令和6年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等									
	（令和6年度） ・工期延長（3か月） ・工事監理履行期間延長（3か月） ・学校施設環境改善交付金の各手続 ・設置条例の整理（魚津テクノスポーツドーム条例改正） ・整備だよりの発行									

6 評 価	評価の視点	R5評価	R6評価	個別評価の項目		個別評価の判定	→	今後の方針	
	妥 当 性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である	○現状を維持		事業の拡充	
				② 目的の妥当性	1 妥当である	事業の縮小		統合等の検討	
				③ 対象の妥当性	1 妥当である	事業の休止		終了又は廃止	
	有 効 性	A	A	① 目標達成度	1 高い	方針の説明等			
				② 類似事業の有無	1 なし	3か月の工期延長に伴い令和7年6月末の完成を見込み、更なる進捗管理を要する。8月の供用開始を目指して、備品購入や各種業務委託の準備を進めるとともに、運営業務受託者や競技団体との協議により施設の利用促進を図る。			
				③ 上位施策への貢献度	1 高い				
	効 率 性	A	A	① コスト効率	1 高い				
				② 実施主体の適正化	1 適正である				
				③ 負担割合の適正化	1 適正である				
	結果(総括)	A	A	現行どおり管理運営を行うことが適当					

1 基本項目	事 務 事 業 名				老人クラブ事業	担当 係 電 話 番 号	課 等 名	社会福祉課	
	予 算 事 業 名				老人クラブ事業		係 名	高齢福祉係	
	新規・継続区分				継続事業		電 話 番 号	0765-23-1007	
	事 務 区 分				自治事務		会 計	一般会計	
	事 業 期 間		開始年度	昭和35年度以前	終了年度	当面継続	予 算 科 目	款	民生費
	総合計画	目 標 名	目標2. 未来につなぐまち					項	社会福祉費
		政 策 名	政策09. いつまでも健やかなまちづくり					目	老人のための明るいまち推進事業
		施 策 名	施策21. いきいきとしたライフスタイルの実現						
		基本事業名	基本事業21ー2. 高齢者の社会参加の促進						
	根 拠 法 令						総合計画主な事業	記載あり（評価対象）	
						総合戦略との関連	関連なし		
						集中プランとの関連	関連なし		
アウトソーシング導入状況		アウトソーシング導入済（業務委託）				評価対象年度の重点事業	非該当		

2 事業概要	事業概要	魚津市老人クラブ連合会及び単位老人クラブの活動を支援する。						
	対象	60歳以上で、単位老人クラブに加入する者						
	手段 (活動指標)	魚津市老人クラブ連合会へ健康づくり事業、ボランティア事業、世代交流事業等の各種事業を委託し、単位老人クラブに対してはボランティア活動・生きがいを高める活動・健康づくり活動などの事業実施のために助成金を交付。						
	意図 (成果指標)	単位老人クラブに加入する高齢者が健康を維持し、生きがいを見つけることができる。						

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			R7年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 老人クラブ会員数	人	3,596	3,542	3,355	3,357	100.1%	3,041
		② 単位老人クラブ数	数	63	60	58	58	100.0%	56
	成果	① 加入率（加入者数/60歳以上人口）	%	23	22	21	21	100.0%	20
		②							

区 分		単位	R4年度	R5年度	R6年度				R7年度	
			決算額	決算額	予算現額	決算額	次年度への繰越額	決算増減率	当初予算額	
4 コスト情報	事業費 財源内訳	事業費合計 (A)	円	4,336,992	4,227,024	4,302,000	3,995,664	0	-5.5%	4,235,000
		①国庫支出金	円							
		②県支出金	円	2,386,000	2,290,000	2,298,000	2,157,000		-5.8%	2,293,000
		③地方債	円							
		④その他（使用料、雑入等）	円							
		⑤一般財源	円	1,950,992	1,937,024	2,004,000	1,838,664		-5.1%	1,942,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	—	0.0%	1
		②年間所要時間	時間	400	400	400	400	—	0.0%	400
		③人件費（②×@ 4,104 円）(B)	円	1,641,600	1,641,600	1,641,600	1,641,600	—	0.0%	1,641,600
	総 費 用 (A + B)		円	5,978,592	5,868,624	5,943,600	5,637,264	0	-3.9%	5,876,600

5 取組内容	令和6年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等									
	○魚津市老人クラブ連合会へ健康づくり事業、ボランティア事業、世代交流事業等の各種事業を委託した。 ○広報誌「老悠連」を年1回発行 ○単位老人クラブに対してボランティア活動・生きがいを高める活動・健康づくり活動などの事業実施のために助成金を交付した。									

6 評 価	評価の視点	R5評価	R6評価	個別評価の項目		個別評価の判定	➡	今後の方針	
	妥 当 性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である	○現状を維持		事業の拡充	
				② 目的の妥当性	1 妥当である	事業の縮小		統合等の検討	
				③ 対象の妥当性	1 妥当である	事業の休止		終了又は廃止	
	有 効 性	A	A	① 目標達成度	2 目標どおり	方針の説明等			
				② 類似事業の有無	1 なし	高齢化率が上昇する一方で老人クラブの加入率が低下傾向にある。当該事業は高齢者の介護予防に大きく寄与していると思われることから、老人クラブ連合会と連携しながら、魅力ある老人クラブづくりを進め加入率の低下を防ぐ必要がある。			
				③ 上位施策への貢献度	1 高い				
	効 率 性	A	A	① コスト効率	1 高い				
				② 実施主体の適正化	1 適正である				
				③ 負担割合の適正化	1 適正である				
結果(総括)	A	A	現行どおり補助することが適当						

1 基本項目	事務事業名		高齢者生きがい事業			担当部署	課 等 名	社会福祉課	
	予算事業名		高齢者生きがい事業				係 名	高齢福祉係	
	新規・継続区分		継続事業				電 話 番 号	0765-23-1007	
	事務区分		自治事務			予算科目	会 計	一般会計	
	事業期間		開始年度	昭和60年以前	終了年度		当面継続	款	民生費
	目 標 名		目標2. 未来につなぐまち				項	社会福祉費	
	政 策 名		政策09. いつまでも健やかなまちづくり				目	老人のための明るいまち推進事業	
	施 策 名		施策21. いきいきとしたライフスタイルの実現						
	基本事業名		基本事業21ー2. 高齢者の社会参加の促進						
	根 拠 法 令					総合計画主な事業	記載あり（評価対象）		
アウトソーシング導入状況		アウトソーシング導入済（指定管理者制度）			総合戦略との関連	関連なし			
					集中プランとの関連	関連なし			
					評価対象年度の重点事業	非該当			

2事業概要	事業概要	ねんりんピック等の全国大会参加への助成金の支給。 平成26年度からは、高齢者の生きがいづくりの拠点施設として、魚津市高齢者いきいきセンターを設置し、指定管理者制度における運営を開始した。
	対象	おおむね60歳以上の元気高齢者
	手段 (活動指標)	魚津市高齢者いきいきセンターを運営し、高齢者の生きがいづくりの機会創出を図る。
	意図 (成果指標)	高齢者の生きがい事業を実施することにより、高齢者が積極的に地域活動に参加し、住み慣れた地域で元気に暮らすことができる。

3 指 標	活動指標名・成果指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			R7年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 全国大会参加種目	件	4	5	5	0	0.0%	5
		② 高齢者いきいきセンター開館日数	日	240	240	240	240	100.0%	240
	成果	① 全国大会参加者数	人	7	12	10	0	0.0%	10
	② 高齢者いきいきセンター利用者数	人	4,965	4,726	4,700	4,514	96.0%	4,600	

4 コスト情報	区 分		単位	R4年度	R5年度	R6年度				R7年度	
				決算額	決算額	予算現額	決算額	次年度への繰越額	決算増減率	当初予算額	
	事業費 財源内訳	事業費合計 (A)		円	1,186,201	1,300,719	1,520,000	1,320,000	0	1.5%	1,520,000
		①国庫支出金	円								
		②県支出金	円								
		③地方債	円								
		④その他（使用料、雑入等）	円	1,600	1,000	1,000					
		⑤一般財源	円	1,184,601	1,299,719	1,519,000	1,320,000		1.6%	1,520,000	
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数		人	1	1	1	1	—	0.0%	1
		②年間所要時間		時間	40	40	40	40	—	0.0%	40
③人件費（②×④ 4,104 円）(B)		円	164,160	164,160	164,160	164,160	—	0.0%	164,160		
総 費 用 (A + B)		円	1,350,361	1,464,879	1,684,160	1,484,160	0	1.3%	1,684,160		

5 取 組 内 容	令和6年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等
	○指定管理者制度により魚津市高齢者いきいきセンターの運営を行った。

6 評 価	評価の視点	R5評価	R6評価	個別評価の項目	個別評価の判定	➡	今後の方針	
	妥 当 性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である		現状を維持	○ 事業の拡充
				② 目的の妥当性	1 妥当である		事業の縮小	統合等の検討
				③ 対象の妥当性	1 妥当である		事業の休止	終了又は廃止
	有 効 性	B	B	① 目標達成度	2 目標どおり		方針の説明等	
				② 類似事業の有無	1 なし		老人趣味の家は、R5で廃止し、R6から普通財産として老人クラブに無償貸与。 高齢者いきいきセンターは、利活用をさらに促すことも必要である。 R7からシルバー人材センターへの補助拡充に併せて、施設の大規模改修に備え、協力金を負担してもらう。	
				③ 上位施策への貢献度	2 普通			
効 率 性	B	B	① コスト効率	2 普通				
			② 実施主体の適正化	1 適正である				
			③ 負担割合の適正化	1 適正である				
結果(総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり					

1 基本項目	事務事業名				就業機会確保事業	担当 係 電 話 番 号	課 等 名	社会福祉課	
	予算事業名				就業機会確保事業		係 名	高齢福祉係	
	新規・継続区分				継続事業		電 話 番 号	0765-23-1007	
	事務区分				自治事務	予算 会 計 款 項 目	会 計	一般会計	
	事業期間		開始年度	昭和63年	終了年度		当面継続	款	民生費
	総合 計画	目標名	目標2. 未来につなぐまち				項	社会福祉費	
		政策名	政策09. いつまでも健やかなまちづくり				目	老人のための明るいまち推進事業	
		施策名	施策21. いきいきとしたライフスタイルの実現						
	基本 事業	基本事業名	基本事業21－2. 高齢者の社会参加の促進				総合計画主な事業	記載あり（評価対象）	
		根拠法令					総合戦略との関連	関連なし	
						集中プランとの関連	関連なし		
アウトソーシング導入状況		アウトソーシング導入済（業務委託）				評価対象年度の重点事業	非該当		

2 事業概要	事業概要	高齢者の就業支援を行うシルバー人材センターの活動に対して補助金を交付し、生きがいづくりや社会参加の促進を支援する。						
	対象	おおむね60歳以上の元気高齢者						
	手段 （活動指標）	シルバー人材センターの就業活動に対する補助金						
	意図 （成果指標）	高齢者が労働・作業に従事することにより、生きがいをみだし、健康な状態を保つことができる。						

3 指標	活動指標名・成果指標名		単位	R4年度	R5年度	R6年度			R7年度
				実績	実績	計画	実績	達成率	計画
	活動	① 補助金額	千円	9,950	9,950	9,950	9,950	100.0%	11,855
		② 補助金交付額	円	9,950	9,950	9,950	9,950	100.0%	11,855
	成果	① シルバー人材センター登録者数（3月末現在）	人	553	566	560	549	98.0%	550
		②							

4 コスト情報	区 分		単位	R4年度	R5年度	R6年度				R7年度
				決算額	決算額	予算現額	決算額	次年度への繰越額	決算増減率	当初予算額
	事業費合計（A）		円	9,950,000	9,950,000	9,950,000	9,950,000	0	0.0%	11,855,000
	事業費 財源内訳	①国庫支出金	円							
		②県支出金	円							
		③地方債	円							
		④その他（使用料、雑入等）	円	2,700,000	2,700,000	1,200,000	1,200,000		-55.6%	3,000,000
		⑤一般財源	円	7,250,000	7,250,000	8,750,000	8,750,000		20.7%	8,855,000
	人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	－	0.0%	1
		②年間所要時間	時間	200	200	200	100	－	-50.0%	100
		③人件費（②×＠ 4,104 円）（B）	円	820,800	820,800	820,800	410,400	－	-50.0%	410,400
	総 費 用（A＋B）		円	10,770,800	10,770,800	10,770,800	10,360,400	0	-3.8%	12,265,400

5 取組内容	令和6年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等									
	○シルバー人材センター運営に対する補助金を交付した。									

6 評 価	評価の視点	R5評価	R6評価	個別評価の項目		個別評価の判定		今後の方針	
	妥 当 性	A	A	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である	○現状を維持		事業の拡充	
				② 目的の妥当性	1 妥当である	事業の縮小		統合等の検討	
				③ 対象の妥当性	1 妥当である	事業の休止		終了又は廃止	
	有 効 性	A	A	① 目標達成度	1 高い	方針の説明等			
				② 類似事業の有無	1 なし	高齢者の就業機会確保に果たすシルバー人材センターの役割は大きく、補助を継続することが必要である。			
				③ 上位施策への貢献度	1 高い				
	効 率 性	B	B	① コスト効率	2 普通				
				② 実施主体の適正化	1 適正である				
				③ 負担割合の適正化	1 適正である				
結果(総括)	A	A	現行どおり補助することが適当						